

# 第5回観光政策フォーラム

## 開催報告

2020年2月25日（火）  
於：神田明神ホール



2月25日（火）、神田明神ホールに於いて、政策実現にむけ、これまで取りまとめてきた「観光立国実現に向けた提言」や「サービス連合の重点政策」を社会に向けて幅広く発信することにより社会との関わりをさらに強め、サービス・ツーリズム産業で働く者の地位向上と産業の健全な発展に寄与することを目的に、「第5回観光政策フォーラム」を開催しました。今回のフォーラムでは、会場を日本らしい情緒を味わえることのできるユニークベニューを選定し、行政官庁・企業・教育関係・業界団体・労働組合などから約130名の参加者が集い、盛況となりました。



冒頭、主催者を代表してサービス連合後藤会長からの挨拶の後、来賓としてお招きした枝野幸男 立憲民主党代表、大塚耕平 国民民主党代表代行、奈良和美 観光庁参事官よりそれぞれご挨拶を頂きました。

フォーラムの構成は「基調講演」、「トークセッション」の2部制とし、第一部では株式会社小西美術工藝社代表取締役社長 デービッド・アトキンソン氏をお招きし、「持続可能な観光立国に向けて～これからの観光産業に求められるもの～」と題して基調講演を行いました。アトキンソン氏からは、日本における人口減少・生産性向上が求められる社会情勢についてや、観光産業における国際情勢についてお話いただくとともに、今後の日本における観光産業に必要な取り組みについて等、示唆に富んだお話をいただきました。



第二部では一橋大学大学院経営管理研究科特任教授 山内弘隆氏、東京女子大学現代教養学部教授 矢ヶ崎紀子氏、観光庁参事官 奈良和美氏の3名をパネリストにお招きし、基調講演と同テーマにてトークセッションを行いました。サービス連合の政策・提言策定にむけた取り組みを紹介し、パネリストの皆さんからは、自然災害への対応や、SDGsへの関わりについて等、ご意見を頂戴しました。

サービス連合は、観光立国の実現と21世紀にふさわしい観光産業の発展を目指し、持続可能な観光立国に向けた取り組みをこれからも強化していきます。